

第七回映画上映会（兼第45回弘明寺サロン）開催記

平成28年2月13日

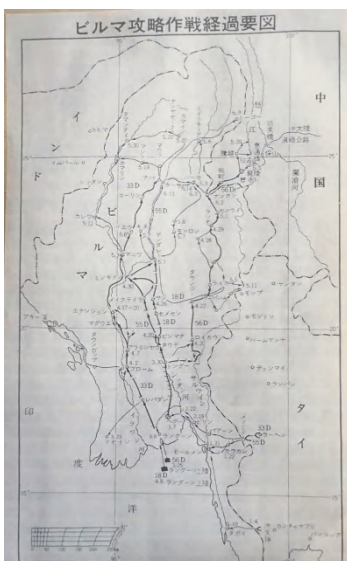
とき : 2016年2月13日(土) 14時~16時
ところ : 第7講義室
出席者 : 36名(映画上映会)
18名(弘明寺サロン) 16時~16時半
上映映画名 : ビルマの豎琴

映画の上映までの約30分 懐かしい文部省唱歌(?)がスクリーンに歌詞と共に映写され
みんなで斉唱、里の秋、荒城の月、箱根八里、旅愁、おぼろ月夜、
殖生の宿・・・次々とみんな声をあげて歌いました。
いつまで歌うのかな、と思うほど次々と、です。
最後はお約束の「学歌」で終わりました。



司会の寺村さんが「今歌っていただいた唱歌などはすべて映画の中で歌われていた歌です」と解説されたとき、はじめてこ憎い演出に気付く始末。映画上映に先立って、行き届いた配慮に主催者の思いが伝わり深く感心するオープニングで上映開始。

「ビルマの豎琴」は1946年に竹山道夫氏が児童雑誌に掲載した児童向けの作品だったとのこと、市川崑監督により二度、映画化されている。一回目は安井昌二氏の水島上等兵、三国連太郎氏の井上隊長、筆者もリアルタイムではないが安井上等兵も中井貴一上等兵も見ている。それにしても昔の子供たちはこのような内容の雑誌を読んでいたことに驚く。1946年という終戦直後の時代背景の素地のもとに国を愛する純粋な子供たちが目に浮かぶ。



映画会終了後18名が場所を変えて見終わったばかりの映画の感想などを語り合う弘明寺サロン会場へと移動。水島上等兵のモデルは実際にいたのか、二回のリメイクの映画の解釈の違い、など話題の尽きないサロンであった。

次回の第8回映画上映会は8月13日
第45回弘明寺サロンは4月9日です。多数の参加を宜しくお願いします。

(記録: 万場由美子)

